



基金積立金

財政管理費

将来にわたる市財政の健全な運営を図るため、各基金の積立を行うもの。

財政調整基金積立金
7億6116万5千円
減債基金積立金
15万8千円
地域振興基金積立金
73万円

全国瞬時警報システム導入工事

災害対策費

気象警報などの緊急気象速報や、武力攻撃の警報など、対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星を通じて市町村防災行政無線を自動起動させて、住民に迅速かつ的確に一斉情報伝達を行うもの。

工事請負費

1066万8千円



本庁2階にある防災無線室



新庁舎建設予定地

制になっている。

- ・豊後大野市政治倫理条例第4条第1項第3号に市が行う契約に関し、市長は特定の者を推薦し、有利な取り計らいをすることを禁じており、これに抵触する。

《賛成討論》

- ・市長が示した施政方針に着実に進んでいく。
- ・この方針に何の問題もない。
- ・地元業者の参入は、大いに賛同。

と、白熱した討論が繰り広げられました。

採 決の結果、賛成多数で原案は可決され、新庁舎建設の凍結は、解除されることになりました。

210万円が争点



新 庁舎建設については、時期や規模を見直し、地元事業者で設計が可能ななどを検討することを理由に凍結となっていました。

凍

結の間、地元事業者である大分県建築士会三重支部と協議を行ってきた結果、新庁舎建設基本構想の策定をお願いできる状況となったことから、今回、提出された平成21年度豊後大野市一般会計補正予算（第4号）で、庁舎整備費として基本構想策定業務委託料210万円の補正が計上されました。

《質疑》

- ・ 210万円の積算根拠は。
 - ・ 随意契約は50万円以内となっているが、ガイドラインに反するのでは。
 - ・ 政治倫理条例に抵触するのでは。
- など、数多くの質疑があり、討論では、

《反対討論》

- ・ 既に市民の声は多数聞いており、210万円を使ってまでする必要がない。
- ・ 日本設計は市内建築設計事務所と契約しており、地元の考えも取り入れられる体

予算総額

318億9,141万6千円

8億4,660万7千円を追加